

平成 30 年度 静岡デザイン専門学校 学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

1. 教育理念・教育目標

〈 教育理念 〉

社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈 教育目標 〉

教育基本法に則り、学校教育法に従い、服飾並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

〈 目標・計画 〉 ※平成 30 年度実績報告書参照

— 特色ある教育を実践し、高校生や企業から選ばれる学校づくりを目指す —

1. 「目標定員確保の必達に向けた募集活動を実践する。」
2. 「実践的で個性豊かな教育の展開により、競合校との差別化を図る。」
3. 「社会環境の変化に即した就職指導体制に改善し、専門職内定率を高める。」
4. 「第 3 次中期計画に沿って各地区事業を着実に実行し、5 年後の「一体的な運営」のビジョンを検討する。」

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価方法： 4（適切） → 3（ほぼ適切） → 2（やや不適切） → 1（不適切）

（1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は示されているか	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
学校自己評価 平均		4
<u>成果と課題</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念並びに教育目標は入学時に配布される学生便覧（2019 年度は学生のしおり）に記載されており、入学時のオリエンテーションで入学生全員に周知している。また、学校行事の際に口頭でも伝達し、さらに教室には教育理念をスローガン化した『専門技術・知識+社会人基礎力=社会を生き抜く力』についての掲示を行い学生・教職員の目に触れる環境となっており、必要な時に想起することができる。 		
<u>今後の改善方策</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・この状況を維持するとともに、さらに徹底を図る必要がある。 		

学校関係者 評価コメント

- ・限られた就学期間の中で専門的な知識・技術の修得とともに社会に出ても、自立し責任ある行動をとれるような人材教育をお願いしたい。
- ・基本理念である教育理念・教育目標が適宜に発信され、学生・保護者等に周知されていることで、学生が目標をしっかりとって学ぶことができる。
- ・時代に即し、変化すべきことと変化すべきではないことを見極めた教育理念・教育目標を掲げている。
- ・将来的な学校の在り方、生徒が求めていることへの対応など、社会の流れも早いので、そのつど早急な動きが出来るとうい。(1-3、1-5 について)
- ・AI の導入により、今後の職業、就職等への激変が予想される中での対応も必要と思われる。

学校関係者評価平均

4

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ・文部科学省が推進する職業実践専門課程に全学科が認定されており、それに伴う教育課程編成委員会を年2回開催している。この委員会で企業委員からの有益な意見をカリキュラムに反映し、シラバスを改訂した。学生にはHP 上で公開している。

▼コンテスト入賞実績

【学生入賞】

- ・静岡県 県知事褒賞 2名受賞：本校学生 6年連続受賞 【静岡県】
- ・第 15 回 JFN 学生ラジオ CM コンテスト【全国 FM 放送協議会】
最優秀賞（全国 1 位）
- ・第 12 回全日本ヘアメイク選手権 学生シュウウエムラ部門

- 【JMA(全日本メイクアップ検定協会)】 グランプリ (全国1位)
- ・第56回技能五輪全国大会【厚生労働省・中央職業能力開発協会】
県代表選抜出場 洋裁部門3名、敢闘賞受賞1名
- ・第15回ACジャパン広告学生賞【ACジャパン】
新聞広告部門 優秀賞1名
テレビCM部門 優秀賞2名 計3名入賞
- ・JFA ファーデザインコンテスト 入選【JFA (一般社団法人日本毛皮協会)】
- ・第93回装苑賞 一次審査通過【装苑】
- ・第13回全国若年者ものづくり競技大会 【中央職業能力開発協会】
グラフィックデザイン部門 県代表2名出場 敢闘賞受賞1名
- ・第38回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)【中央職業能力開発協会】
DTP部門 県代表1名出場
- ・静岡新聞広告賞2018 公募部門 【静岡新聞社】
準グランプリ1名、審査員特別賞1名 合計2名入賞
- ・第7回静岡県ものづくり競技大会 【静岡県職業能力開発協会】
グラフィックデザイン部門 第2位
- ・第17回SOHO静岡ビジネスプランコンテスト【SOHO静岡・B-nest静岡市産学交流センター】
学生部門 静岡新聞社賞 1グループ受賞
- ・静岡県技能競技大会フラワー装飾部門【静岡県技能士会連合会】優良受賞
- ・花の都しずおかフラワーコンテスト2019【静岡県ふじのくに花の都しずおか推進協議会】
ミニガーデン部門 金賞・銀賞 2グループ入賞
アレンジメント部門 金賞1名、銅賞1名 計2名入賞
- ・花咲く伊豆の国フェア春のガーデンコンテスト【花咲く伊豆の国推進協議会】
ミニガーデン部門 伊豆の国市長賞入賞
- ・第33回全国ファッションデザイン画コンクール【文化服装学院連鎖校】
企業賞1名、奨励賞2名 計3名入賞
- ・倉敷ファッションフロンティアコンテスト【倉敷ファッションフロンティア実委会】
優秀デザイン特別賞1名
- ・第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション(静岡県)
【静岡県印刷工業組合】
優秀賞(準グランプリ)2グループ、特別賞1グループ受賞
- ・第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション(全国)
【全日本印刷工業組合連合会】
佳作2名、1グループ 受賞

▼企業団体との共同研究への参加実績

- ・【伝馬町発展会】第13回伝馬町通り商店街・活性化プロジェクト
 - ①てんまデザイナーズバナー制作・設置
 - ②てんま夏祭り2018(浴衣ファッションショー、フラワーショーなど)
- ・【大道芸ワールドカップ in 静岡】「クラウンスタイルコンテスト」グランプリ衣装制作
- ・【呉服町名店街】大道芸キッズペインティング運営
- ・【静岡県 他】「SDGs 推進 TGC しずおか2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION」
モデルフィッター、会場運営スタッフ
- ・【静岡市】「SDGs 推進」
 - ①動画制作
 - ②テーマカラーホイール制作
- ・【NPO 法人花咲くしずおかフラワーネットワーク会議】
 - ①「いい夫婦の日」に花を贈ろう 県庁訪問

②「SDGs 推進 TGC しずおか 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION」会場オブジェ装飾

- ・【bud brand プロジェクト】ミラノデザインウィーク 2018 作品出品
- ・【㈱手塚プロダクション】手塚治虫キャラクターを用いた商品企画の提案
- ・【I Love しずおか協議会】「“おまちワンダーランド” クリスマスステージ」参加
- ・【静岡駅ビル・パルシェ】屋上の壁画制作
- ・【㈱小柳津清一商店】雅正庵宮竹店の壁画制作
- ・【㈱100percent】直営店舗「Mission Bay」の壁画制作
- ・【㈱水鳥工業】mizutori+Labo 店舗ショーウィンドーのイラスト制作
- ・【静岡県家具工業組合】シズオカ[KAGU]メッセ 作品ブース運営
- ・【タミヤ】クリスマスフェスタ 各種ワークショップ運営
- ・【静岡まつり実行委員会】「大御所花見行列」学生参加
- ・【SBSテレビ】『sole いいね!』の番組セットの装飾 季節ごと入替
- ・【大場建設㈱】整体院の内装デザイン提案
- ・【西中原マンション自治会】外壁リノベーションデザインの提案
- ・【アイワホームサービス㈱】SBSリフォームプラザ内に同社とのコラボ店舗常設
- ・【静岡市立静岡病院】「病院に再び花をプロジェクト」フラワー装飾 計7回
- ・【静岡県】静岡県庁東館2階ロビー フラワー装飾 計6回
- ・【NHK静岡放送局】『ひるしず』『しずおか花便りコーナー』フラワー装飾毎週入替
- ・【するが花卉卸売市場】清水港フラワーショー フラワーショップ運営
- ・【あいねっとホール千代田】「型にはまらない〇〇な祭壇」企画・制作
- ・【CCC静岡文化クリエイティブ振興センター】七間町ハブニング
コンテンポラリーダンス「Humanoid Lady」衣装制作&ヘアメイク
- ・【島田帯シャツブランド協議会】島田市役所玄関前ディスプレイ
- ・【静岡第一テレビ】「まるごと」久保せいじのコーナー衣装制作
- ・【㈱ヒューマンフォーラム】

①商品開発・販売 ②SPINNS 静岡店公式 Instagram 運営・更新

- ・【SBS 静岡放送】「SBS 春まつり まちスタ」
ファッションショー運営、スタイリング、ヘアメイク担当
- ・【FORTE】「girls walk in SHIZUOKA」ファッションショー実施
- ・【丸井静岡店】ショーウィンドー及び店内ディスプレイ 夏冬計2回
- ・【みらーと】障がい者モデルファッションショー ヘアメイク担当
- ・【ワntenス】「ワntenスプロジェクト」キッズヘアメイクショー メイク担当 他

▼各種デザイン・作品の採用実績

- ・【戸田書店】ブックカバーデザイン (限定12万部配布)
- ・【大道芸ワールドカップ実行委員会】大道芸ワールドカップ in 静岡 2018
公式ポスターデザイン2種(全国版・市内版)、リーフレットデザイン
- ・【静岡市】静岡市リバウエル井川スキー場 ポスターデザイン
- ・【清水港】清水港開港120周年記念事業 ロゴマークデザイン
- ・【静岡県広告業協会】新聞広告の日
- ・【静岡鉄道】日吉町駅マナー看板デザイン 3作品

- ・【静岡鉄道】 新型車両マナーアップデジタルサイネージ制作
- ・【静岡県舞台芸術センター (SPAC)】 中高生鑑賞事業パンフレット制作 4 演目
- ・【㈱ゆうちょ銀行】「ゆうちょマチオモイカレンダー」 静岡県ページ イラスト
- ・【静岡県教育委員会】「本とともだち」表紙イラスト&挿絵イラスト
- ・【静岡市国際交流協会】 異文化コミュニケーション体験フェア ポスターデザイン
- ・【㈱シティエフエム静岡 FM-Hi!】 番組表リーフレット 表紙イラスト
- ・【JA 静岡市、駿府オリーブ研究会】 静岡産オリーブオイル「駿」パッケージデザイン
- ・【静岡市林業研究会】 森林認証を PR する「108 定規」デザイン 他

今後の改善方策

- ・教育課程編成委員会を開催するにあたり、より多くの外部意見を取り入れるためには委員の方を定期的に入れ替える必要がある。規定に沿う形で委員の更新を図る。
- ・上位層ややる気のある学生をフォローするため、チャレンジプログラム制度をカリキュラムに取り入れた。ただ、学科ごと運用の仕方にばらつきがあるため、より良い活用方法を模索する。さらに学生にとって有益なものについては、自主的な取り組みを促したり、部活の中で取り組んだりするなど後押しをする。
- ・新任教員研修プログラムを軌道に乗せ、早期戦力化を図る。
- ・学生自身が成長を自覚できるように「成長の見える化」を図る。
- ・様々な実績のアーカイブ化へ取り組み広報しやすい環境を作る。

学校関係者 評価コメント

- ・SNS の利活用に力を入れ、学校への関心を高め、告知のフォロワーも増えてはいるが、少子化の壁もあり、出願率等で苦戦しているのは仕方がないといえる。
- ・数多くの受賞者を輩出し、成果は十分と言える。カリキュラムがしっかりしていることの表れだと思う。
- ・チャレンジプログラム制度導入によるさらなる成果に期待したい。
- ・コンテストや対外活動では素晴らしい成果を上げている。また、カリキュラム内容も時代や社会ニーズに合わせて見直しが行われている。
- ・教育費に対する家庭の格差があるので、やる気のある生徒が入学から卒業まで不安なく授業が受けられる環境づくりが今までより整備されていくことはとても望ましい。
- ・社会人として生きていくためのビジネスマナー研修の導入・強化を図りたい。
- ・県知事褒賞受賞者名を刻んだプレートを作成して校内に掲示してみてもどうか。(毎年追加できるような形式で)
- ・目標に到達していない学生には寛大な措置をとり、あたたかく長い目でみてもらいたい。

学校関係者評価平均

4

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	3
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
学校自己評価 平均		3.75

<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上を図るため、全教職員が一丸となって指導にあたっている。本年度も前年に引き続き、履修した分野に関わる業種・業態に就職した学生の関連分野就職率は昨年より0.2ポイントUPの96.2%となった。 ・資格取得に対しては、各学科が計画的に授業を構成し指導にあたっている。ほぼ昨年並みの取得率を確保した。 ・退学率低減のために、個別面談を行い早期に学生が抱えている問題を解決するよう努めた。年度末の退学率は6.8%となり、目標の6.5%以内に抑えることはできなかったが、一昨年の7.8%は下回ることができた。 ・新聞やSNS等による情報発信を注視しながら、卒業生の活動を確認している。また、本校の施設であるデザインファーム等を利用して個展などを開催する卒業生も多数あり。
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職先としての企業の新規開拓～従来の業界に留まらず、学んだことを活かせる業界（企業）への働き掛けを強める。 ・インターンシップに積極的に参加させるにあたり、学業のフォローも同時に行う。 ・退学率を低減させるために、学生並びに保護者とのコミュニケーションを一層密にとるようにする。休んだ時には必ず声掛けを行い、常に状況の把握をするよう務める。 ・複数のSNSを活用した卒業生とコミュニケーションを工夫し、相互の協力体制をシームレスになるよう工夫する。
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野での資格取得やコンテストでの入賞実績も多く、教育現場での実践、学生のチャレンジがよくわかり、良い成果も出ている。この成果をアーカイブ化して広く広報してもらいたい。 ・退学率は対前年比微増ではあるが、履修した分野への関連就職率もアップしており、成果は認められる。 ・就職率に関しては、時代の景気状況などにも左右されると思うが関連分野就職率アップは素晴らしい。 ・退学者についてはいかに当人の問題を解決し、明るい方向性へ導けるかが求められる。 ・卒業生の活動は一部の人のみでなく広範囲での繋がりが欲しい。同窓会等の参加も含め、工夫が必要かと思う。

学校関係者評価平均 3.83

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	4
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学校自己評価 平均		4
<u>成果と課題</u>		

- ・常設の進路指導室を設置し、学生の就職相談には常時対応している。専任職員を配置し、進路活動支援・求人開拓を行っている。校内企業ガイダンスを年1回実施し、姉妹校の開催するガイダンスについても教員を通して伝達している。
- ・学生面談は入学生に対しては、入学後早期に面談を実施している。スクールカウンセラーは、毎週火曜に来校し学生からのカウンセリング希望に対応している。また、スクールカウンセラーからの情報提供紙として『メンタルヘルス』を毎月発行し、学生及び教職員に配布している。
- ・学生の経済的側面に対する支援として日本学生支援機構の奨学金制度・国の教育ローン等の案内を学生・保護者に対して紹介している。学校法人で取組んでいる学費サポートプランについても書面及び口頭で説明している。
- ・保護者とは、後援会総会や各種イベント開催の案内を通して学校の状況を知らせている。また、積極的にマス媒体に露出することにより、保護者に学校の活動状況を告知している。
- ・卒業生に対しては卒業後の就職活動支援や、アルバイト募集への協力、情報の問合せへの対応等を行っている。
- ・就職活動の取り組みとして、グラフィックデザイン科、プロダクトデザイン科、インテリアデザイン科でポートフォリオセッションを行なった。学生の作品集を一堂に並べて企業の方に見ていただき、学生と企業のマッチングを促進させることができた。
- ・校内球技大会、校内ボウリング大会、ハロウィン、卒業生を送る会などの課外活動を実施している。また、クラブ活動に対しても支援を行っている。

今後の改善方策

- ・前項にもあるが、SNSを活用した卒業生とのコミュニケーションを利用し、相互の協力体制をシームレスになるよう工夫する。
- ・学生の健康管理に対する体制をより充実したものとする。
- ・教育費負担軽減制度が令和元年度よりスタートする。登録に向けて申請手続き準備を行う。

学校関係者 評価コメント

- ・退学者が出るのは仕方ないが、在籍時の目標や人生の目標など自立できるように導いていく相談やカリキュラムも必要かもしれない。
- ・就職率は現在人手不足の世の中なので順調に推移すると思う。
- ・進路指導室の常設、スクールカウンセラーによるカウンセリング、課外活動の実施、クラブ活動の支援等、十分な支援体制が構築されている。
- ・教育費負担軽減制度について、登録申請手続きの準備が進んでいる。
学校活動、メンタル面、様々なカタチで学生支援が行われている。
- ・卒業生としては、学校に顔を出しにくい時もあり、SNSでの情報収集はありがたい。求人に対する内容なども知ることが出来たら転職を考えると探しやすいと思う。
- ・保護者向けポータルサイトを構築して学生の動向についての情報発信と意見の吸い上げを行い、問題の早期発見に努めてはどうか。(web上でのアンケート等)
- ・校内企業ガイダンスやポートフォリオセッションなど企業とのマッチングをすることが就職支援につながっていると思う。
- ・卒業生に対して卒業後の支援をしているのは心強い。

学校関係者評価平均

4

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
5-6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
学校自己評価 平均		4
<u>成果と課題</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーデザイン科が主として使用している 405 教室の壁、床を張り替える内装リフォームを行い居心地の良い環境を整えた。また排水設備のメンテナンスを行い使い勝手にも配慮した。 ・504 教室の M a c パソコンを最新型に更新したため、処理速度が上がり描画がスムーズに行えるようになった。同時に大型液晶タブレットも導入した。デジタルで描く環境が整い、表現方法の広がりにも寄与した。 ・5F ラウンジにプリペイドカードを使用するカラー出力機を追加し、順番待ちの学生を減らすとともに利便性を高めた。 ・5F ホールの天井に設置していたプロジェクターを更新した。従来よりも表示が精緻になり格段に明るくなったため、学校説明会、外部へのプレゼンなどでの使い勝手が大幅に向上した。 ・403 教室で使用している windowsPC に内蔵されているハードディスクをフラッシュメモリタイプの SSD に更新したため、起動時間、アクセス時間の短縮が図られ使い勝手が向上した。 ・104 教室の椅子の入れ替えを行なったため、座り心地が良くなり長時間使用時の体への負担を軽減した。 ・雨天時、入口に設置してある水滴除去器具の前に学生が並びやすいため追加導入した。雨の日に校内に水滴が落ちにくい環境を整えた。 ・非常用設備を差し替えた。これにより校内放送の音声が明瞭となった。 ・通信設備にレイヤー3 スイッチ導入し基幹環境を充実させた。これにより各教室のインターネット接続環境が前年度以上に向上させることができた。 ・教室内で劣化の進んだ壁の張替えを行い館内の美化を推進した。 ・すべての教室は学生に自由開放し、自習が可能な状態となっている。放課後も、月・水・金は 19 時、火・木は 20 時まで、土曜日は午前中を開放している。 ・定期的な防災訓練の実施、保存食の備蓄など防災に対する体制は整備されている。また車椅子利用学生を救助できる腰掛式担架を 5F に設置している。 ・新しい防災設備としてガス缶を使用して発電する発電機を 2 台、蓄電器を 2 台導入し、停電時のバックアップ電源を確保した。 ・保健室を備えており、常備薬も定期的に補充されている。 ・ミシンや製図盤などの機器は年に 1～2 回専門業者がメンテナンスを行い必要な修繕を実施している。 ・昼食時に発生するゴミに対して、エレベータ前に昼食時専用のごみ箱を設置している。 		
<u>今後の改善方策</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・入学者の増加に伴い、今後の就職先を広げておく必要がある。従来からの就職先とのパイプを確保しつつ、インターンシップ先の新規開拓も行っていく。 ・いざという時に教職員が発電機を実際に使えるよう定期的な訓練を実施する。 ・築 20 数年が経ち、各部で経年劣化が進んでいる。常に学校を点検し必要に応じて対処する。 		

学校関係者 評価コメント

- ・慢性的な教室数の不足というハードの部分や構造物の利便性等資金面での計画を具体化したい。
- ・慢性的な教室不足対策として、サテライトキャンパスなども検討してみてもいい。
- ・教室のリフォーム・新設備の導入等、学生に対する支援が積極的に行われている。
- ・それぞれの機器のメンテナンスや更新により、学生が学びやすくストレスが軽減され授業に集中できる環境づくりに積極的に取り組んでいる。
- ・快適で充実した学生生活をフォローできるような設備・備品の整備がしっかりとなされている。
- ・校内禁煙の動きなど、近隣住民と学生との共存も視野に入れ、時代に合った対応が望ましいと思う。
- ・学校入口付近の防犯カメラの設置がされている。
- ・発災時の保護者等への安否情報提供が充実している。
- ・防災に対しては後援会総会の時に丁寧に説明しているので安心している。

学校関係者評価平均 3.83

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ・学生募集については教職員一丸となって取り組んでおり、広報資料・募集要項の内容等は適切に記載されている。
- ・学校説明会は4月から12月まで毎月開催し、オープンキャンパス(体験入学)は3月から9月まで13回(前年より3回増加)開催した。内容はその都度学科内で検討し、集客に努めた。オープンキャンパス参加者からの出願率は前年並みとなった。
- ・オープンキャンパスの開催方法にも工夫をし、前年度の申込者実績を元にデザイン系学科とファッション系学科を二日に分けて実施し、高校生への対応がしっかりできるよう配慮した。
- ・学科ごと入学者のバラつきが発生したが、定員190名に対して198名の学生が集まり、全体としては定員を超える入学生数を確保することができた。
- ・学内でのTwitter等のSNSの活用が浸透し、高校生への広がりを見せた。募集活動に効果的に機能した。

今後の改善方策

- ・定員未達の学科を重点フォロー学科とし、学科の魅力と募集戦略を再考し、安定した定員確保を目指す。
- ・18歳人口が減少する中、反応者の獲得につながる積極的なアクションを起こしていく。
- ・一度接触した反応者をより来校や出願に結び付ける適切なフォローを心掛ける。
- ・本校がかなり研究されてきているため、他校との違い(本校の特色、強み)を明確に打ち出していく。

学校関係者 評価コメント

- ・教育活動と同様、SNSの利活用は今日の状況では当たり前のようになっているが、熱し易く冷めやすくないようフォローしていくことが大切だと思う。
- ・オープンキャンパスの開催等、積極的に学生の受入れに努めている。

- ・ SNS の活用による時代の流れに対応した募集活動を行っている。
- ・ 定員未達の学科、男子学生の減少は深刻な課題として対処が必要である。
- ・ 学校案内・SNSetc に対して在校生、高校生が本当に必要としている情報は何か聞き取りをして戦略に生かせると良いと思う。
- ・ 募集活動（オーキャン）の中で、学生生活のことは色々と知ることができるが、卒業後の事（仕事内容、就職先等）についての情報が薄いと聞いているので、その辺りの話も詳しく高校生に伝えると良い。
- ・ 中学生への働きかけの拡充
- ・ 高校生の通学路になっている JR 北口地下道から松坂屋側 G 出口に設置のビルボードを活用しての PR を検討してみてもどうか？
- ・ ホームページが見易く、わかりやすく作成されている。
- ・ オープンキャンパスが充実しており、学生を受け入れるための学校側の努力が伝わってくる。

学校関係者評価平均 3.83

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-8	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-9	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-10	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-11	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-12	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
7-13	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-14	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-15	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-16	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-17	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-18	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-19	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-20	自己評価結果を公開しているか	4

学校自己評価 平均 3.95

成果と課題

- ・ 学校法人全体を統括する理事会・評議員会は年 3 回、5 月・9 月・2 月に定期的実施され、議事録は適切に作成され、管理されている。
- ・ 就業規則などの諸規定は整備されており、一部抜粋が規定集として全職員に配布され、またすべての規定集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。

<ul style="list-style-type: none"> ・組織間の連携は、校長会及び4つの部会（進路、企画、教育、広報）と中期計画策定委員会を中心に十分な連絡会が持たれている。事務局機能として専門学校事業室が機能し、全体の連携をさらに円滑にしている。 ・防災計画は年度ごと見直しを行い防災マニュアルに反映し、非常時の危機管理対策について周知徹底している。 ・AEDは学校1F事務室に配置されており、全教員がAED講習を受講しAED操作の訓練を行っている。 ・個人情報を使用目的等を明示したうえで収集、利用、廃棄している。 ・セクシャルハラスメントにのみではなく広くハラスメント全般に対するようハラスメント委員会を設け、委員名や連絡方法、またハラスメントへの対応等を明記した文書を校舎内廊下に掲示している。校長室前には施錠した投書箱を設置している。 ・学園の財務情報については、ホームページ上に公開されており常時閲覧可能である。財務分析比率は適切な数値となっている。
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の基幹システム（教務、広報、就職）が更新されるのを機に業務の効率化を図る。 ・新スタッフへのフォローをしっかりと行い、円滑な組織運営に繋げる。 ・AEDについては定期的な講習を行い、非常事態に備える。
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的実施されている理事会・評議委員会議事録の作成、管理、適正な収支報告等、法令遵守の風土が醸成されている。 ・安全、安心対策がされており、ハラスメント委員会の設置等、社会問題にも対応している。 ・効率的な学校運営を目指していることは評価できる。 ・働き方改革に応じた対策も求められる。 ・自己評価がきちんとできており、なおかつ問題点の改善項目が明確にされている。

学校関係者評価平均

4

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
8-4	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ・『伝馬町イベント』、『ガールズウォーク』、『店舗ディスプレイ』、『クリスマスフェスタ』等地域のイベントに積極的に参加し、地域貢献を図っている。また、中学校からの依頼によるキャリア教育、高等学校から依頼によるデザイン関連体験授業等にも対応している。
- ・留学生の受入体制については、留学生担当を設け対応しているが、従来の一人体制から二人体制とし、留学生への対応を手厚くした。また、入国管理局への報告事項も適正に行われている。入国管理局より適正校であることの文書が届いている。
- ・ボランティア等の依頼については、一斉メールによる募集案内を行ったり、校内掲示を行ったりして積極的に参加を募っている。『大道芸ワールドカップ』には多くの学生が参加している。

今後の改善方策

- ・様々な活動へ積極的に参加する学生を支援する体制を学内に整える。

学校関係者 評価コメント

- ・企業団体とのコラボ等、習ったこと、試したい事を公衆に評価され、また喜ばれることは大きな自信となる。
- ・地元イベントの参加が留学生の受入、ボランティア等積極的な取組みがなされ、社会や地域、更には国際的な貢献が認められる。
- ・地域連携がしっかりと出来ていることはとても評価できる。
- ・地域活動への参加が増え、学生のやる気につながるのは良いことであるが、科によつてのバラつきがあるのが気になる。
- ・毎年の伝馬町に対する協力に感謝している。
- ・LGBT に対する理解の推進を図りたい。
- ・様々なボランティア活動に参加することで、地域企業との連携がとれ地域貢献ができています。
- ・時代のニーズ、環境の変化に敏感に対応し、未来を創造する貴重な人材を教育・育成する環境が整っており、その成果も十分に証明されている。

学校関係者評価平均

4

学校関係者評価会議 議事録

日 時：令和元年 6 月 14 日（金）10：00～11：30

場 所：静岡デザイン専門学校 1F 展示ギャラリー

議 題：学校関係者評価に関して

進行・記録：保科

出席者：卒業生 青島 千枝美 様（柴田千枝美事務所 代表）
保護者 望月 誠 様（静岡デザイン専門学校後援会会長）
近隣住民 塚本 雅英 様（伝馬町発展会 会長）
関係業界 松木 徳夫 様（㈱加減乗除 代表取締役）
関係業界 水島 圭吾様（㈱大丸松坂屋百貨店 業務推進部マネージャー）
校 長 久保田 香里
教務課長 保科 康浩
教務課長 大場 厚始
総務課長 鈴木 美紀

※関係業界 小林 廣夫 様（㈱フローラ 4 5 小林岩夫生花店 代表取締役）欠席

1. 学校長挨拶
2. 平成30年度 静岡デザイン専門学校自己評価に関する趣旨説明（保科）
＜以下資料を元に説明＞
 - ・学校関係者評価委員会 委員名簿
 - ・学校自己評価報告書
 - ・学校関係者評価会議 配布資料 1
 - ・学校関係者評価会議 配布資料 2
 - ・委員用評価報告書への記入について
3. 平成30年度の本校の実績について、配布資料 1 並びに 2 を使って報告（久保田校長）
4. 評価項目（1）から（8）までの達成及び取り組み状況に関して説明（保科）
 - （1）教育理念・目標
項目 1-1 から 1-5 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 4 を報告
 - （2）教育活動
項目 2-1 から 2-12 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 4 を報告
 - （3）教育成果
項目 3-1 から 3-4 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 3.75 を報告

(4) 学生支援

項目 4-1 から 4-9 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 4 を報告

(5) 教育環境

項目 5-1 から 5-6 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 4 を報告

(6) 学生の募集と受け入れ

項目 6-1 から 6-5 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 4 を報告

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

項目 7-1 から 7-20 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 3.95 を報告

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

項目 8-1 から 8-4 までの成果と課題、今後の改善方策について説明
自己評価 4 を報告

5. 質疑応答並びに評価表への記入

<外部委員からの質問並びに回答>

- ・高等教育段階の教育費負担軽減制度が始まるとのことだが、どのような制度か？
⇒学校が文部科学省の定める条件を満たしていれば、在籍する学生の経済状況によっては、授業料の減免や給付型奨学金を支給する制度となっている。
今年度は認定校に指定されるべく、法人全体で取り組んでおり、現在は申請書類を準備している。
- ・文部科学省の指定条件は何か？
⇒実務経験のある教員が、カリキュラムの合計時間のうち一定時間を担当しており、授業内容のシラバスが公開されていることなどとなっている。
- ・退学する学生の理由はどのようなものか？
⇒経済面が原因のこともあれば、メンタル面、体調不良、学業不振など様々、ここ数年はメンタル面が弱い学生が増えてきている印象がある。
- ・学生の男女割合を見ると女子が多いが、学校の今後を考えると男子を増やす取り組みが必要ではないか？
⇒その認識は持っている。従来男子学生が多かった学科の男子学生の割合が低下している。広報の仕方を工夫するなどして改善を図りたい。
- ・新システムを導入したのに業務効率が上がっていない理由は何か？
⇒入力の方法が従来と異なるため、教職員たちがまだ不慣れなことがあげられる。慣れてくれば効率が上がっていくと思われる。
- ・ビジネスプランコンテストには全学科が参加しているのか？

⇒現在取り組んでいるのは、グラフィックデザイン科、プロダクトデザイン科、インテリアデザイン科、ファッションビジネス科の4学科となっている。それぞれ学科の特徴が表れている。

- 世の中ではAIを導入する動きが高まっている。職業、就職などへの影響が予想されるので、何らかの対応が必要ではないか？

⇒学内でもそのことについての議論をしている。今後に向けて何らかのアクションを起こしたい。

- 慢性的に教室数が不足しているとのことだが、具体的な改善策はどうか。

⇒一部の教室にパーティションを設置し、2教室として使えるようにした。それでも間に合わない場合は、外部施設を借りるなどして授業がスムーズに行えるよう対応している。

- 様々なシーンでシズデを目にする。地域貢献を良くしていると思う。

⇒ありがたいことに大変多くの依頼が舞い込む状況となっており、対応できない場合もある。基本的には学生の成長につながるものに今後も取り組んでいきたい。

6. 閉会

以上